

上武大学
経営情報学部紀要

第 17 号

<論文>

1. Script 言語を用いたプログラミング教育
..... 宮坂英輔 (1)
 2. 経営者支配の正当性について 中村雄司 (19)
 3. ネットワーク教育の実践研究
..... 植松盛夫・瀬川清 (43)
 4. 準遺伝多元環について 植松盛夫 (57)
 5. マルティプルテストの分析について 小林康彦 (61)
 6. *POD*に見られる英単語発音の変化(29)
..... 鵜澤伸雄 (77)
-

1997年10月

上武大学経営情報学部

上武大学経営情報学部紀要編集委員会規約

第1条 組織

本会は、上武大学経営情報学部紀要編集委員会と称し、事務局を上武大学付属図書館分館内に置く。

本会は、上武大学経営情報学部図書委員会の委員によって構成され、図書委員長が本会委員長を兼任する。

第2条 目的

本会は、上武大学経営情報学部に所属する教員相互ならびに他の教育研究機関との学術研究の推進および交流を図ることを目的とする。

第3条 事業

本会は、前条の目的を達成するために、上武大学経営情報学部長を発行人として、「上武大学経営情報学部紀要 (Bulletin of the Department of Management and Information Science, Jōbu University)」の編集・発行を行い、本学部関係者に配布するとともに、他の教育研究機関の学術誌との交換を行う。

第4条 査読

「上武大学経営情報学部紀要」への投稿原稿は、本会が委嘱した査読者の審査を経た上で、掲載を決定する。

第5条 事務委嘱

本会は、事業の円滑な遂行のため、事務局業務を上武大学付属図書館分館司書室に委嘱する。

- [付則]
1. 本規約は、平成9年9月1日より改正施行する。
 2. 「上武大学経営情報学部紀要」の号数は、旧研究報告書「上武大学経営情報学部論集」(第1号～第4号)とは別に、第1号より付ける。
 3. 「上武大学経営情報学部紀要」の投稿・執筆要綱は、別に定める。

「上武大学経営情報学部紀要」投稿・執筆要綱

1. 投稿資格

上武大学経営情報学部専任教員または上武大学経営情報学部紀要編集委員会（以下、編集委員会という）の認めた者とする。

2. 募集原稿

論文、研究ノート、調査資料、翻訳、書評、その他編集委員会が認めたものとする。

3. 使用言語

原稿本文は、和文または欧文とする。

4. 原稿の枚数

原則として自由であるが、編集上支障がある場合は、投稿者は編集委員会の決定に従う。

5. 原稿の提出

投稿者は、下記規定に従って作成した完成原稿1部を原稿募集期間中に編集委員会に提出する。

6. 投稿原稿の掲載

投稿原稿は、編集委員会が委嘱した査読者による審査を経て掲載される。

7. 印刷の体裁

1ページ（B5版）につき、横書きの場合は41字×33行、縦書きの場合は28字×23行（2段組み）とする。

8. 校正

校正は、主として印刷上の誤りや不備の訂正とし、大幅の書き換えや内容の変更は避ける。また、3校を限度とする。

9. 別刷り

掲載後、投稿者は別刷り 100部を受け取ることができる。ただし、超過分については、投稿者が実費負担する。

10. 規定

(1) 原稿用紙

手書きの場合は原則として、横書き、縦書きとも200字または400字詰め原稿用紙を用いる。ワープロを使用する場合は、A4版ワープロ用紙に十分な余白と行間（ダブルスペース）をとって印字する。

(2) 書体・字体・仮名遣い

固有名詞・引用文を除き、楷書・新字体・新仮名遣いを用いる。

(3) 符号

句読点（、・、。）・中点（・）・括弧（〔〔〕）・疑問符（？）・感嘆符（！）・ハイフン（—）・コロロン（：）等の符号には、いずれも1字分をとる。なお、横書きの場合、句点にはコンマ（,）を、読点にはマル（.）またはピリオド（.）を用いることとする。

(4) 数字

数字は、原則としてアラビア数字を用い、数字が複数続く場合は1字分に数字2字を入れる（3種類、1997年、1.5倍など）。ただし、熟語や固有名詞等、一般的に漢数字が使われる場合は、それを用いる（一部分、二酸化炭素、八十八夜など）。

(5) 表紙

表紙には、論文、研究ノート等の種別、表題、著者名を明記する。和文原稿には、和文表題・和文著者名の他に欧文表題・欧文著者名を、欧文原稿には欧文表題・欧文著者名の他に和文表題・和文著者名をそれぞれ付記する。

(6) 表題の語の頭文字

欧文表題中の冠詞 (a, an, the), 前置詞 (at, in, of, on, to 等), 等位接続詞 (and, but, or, nor 等), 不定詞の to の頭文字は小文字にし, その他の語の頭文字はすべて大文字にする。

表題を本題と副題で構成する場合は, 本題の後にコロンの (:) を付けて副題を続ける。副題の語の頭文字の表記も本題と同様である。

(7) 図・表

図と表は1枚ずつ別紙に作成し, それぞれに通し番号と表題を付ける。さらに, 本文原稿の右余白部に, 各図・表の挿入位置がわかるように図・表番号を記入する。

また, 正確を期するため, 「紀要専用割り付け用紙」を用いて, 印刷時の各図・表の位置と大きさを指定する (刷り上がりの大きさが6×6 cmの図・表は, 本文原稿の18字×10行に相当)。

(8) 注

注は, 本文の当該箇所の右肩に括弧付きの通し番号を付け, 章末や本文末尾に対応する注釈を番号順に列記する。

(9) 文献

原則として本文の文中では, 著者 (編者) 名の後に括弧付きで発表年を記し, 文末では括弧中に著者名, 発表年を並記する。/例: 田中 (1995) によれば, …。…という説もある (鈴木・佐藤, 1996)。

本文の末尾には, 著者 (編者) 名の五十音順, アルファベット順などに従って文献を列記する。原則として1文献につき, 著者 (編者) 名, 文献名, 発行年数, 雑誌 (収録書籍) 名, 巻数, 号数, 掲載ページ範囲を記す。

その他の文献の細則は, 専門分野により異なるため, 関係学会誌の慣例に従うこととする。

執筆者紹介(論文掲載順)

宮坂英輔(情報処理)
中村雄司(企業システム論)
瀬川清(計算機科学)
植松盛夫(代数学)
小林康彦(ドイツ語)
鵜澤伸雄(英語学)

編集委員(50音順)

新井健司 齋 幸雄 鵜澤伸雄
角谷光一 竹本次郎 中村光一
中村雄司 宮野祥雄

上武大学経営情報学部紀要

第17号

1997年10月25日 印刷
1997年10月31日 発行

Printed in Japan

発行人 佐藤 昭二

発行所 上武大学経営情報学部
〒370-13 群馬県多野郡新町270-1
TEL. 0274-42-2828

印刷 学校法人学文館法人本部財務部印刷課
群馬県高崎市片岡町1-15-19
TEL. 0273-27-9192

**BULLETIN OF THE DEPARTMENT OF
MANAGEMENT AND INFORMATION SCIENCE
JÔBU UNIVERSITY**

No. 17

October 1997

Contents

1. Programming Training through Script Languages
..... Eisuke Miyasaka (1)
 2. On the Legitimacy of Management Control
..... Yuji Nakamura (19)
 3. A Practical Study of Network Literacy
..... Morio Uematsu-Kiyoshi Segawa (43)
 4. On Quasi-hereditary Algebras Morio Uematsu (57)
 5. Analyse des Multiple Choice Testes
..... Yasuhiko Kobayashi (61)
 6. Some Changes in Pronunciation of English Words
Seen in the *POD*(29) Nobuo Uzawa (77)
-

Published by
The Department of Management and Information Science
Jôbu University